

8-4-34 システム改善専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) システム改善専門委員会の開催

会員企業が運用しているマネジメントシステムの改善や実効性向上に資する事例紹介や、新たなマネジメントシステム導入に有用な情報提供を目的に、13回の専門委員会（参集：6回、メール審議：3回、Web会議4回）を開催した。

(2) マネジメントセミナーへの参画

マネジメントシステム委員会主催のセミナーに、傘下の専門委員会として参加し、「マネジメントシステムの効果的運用に向けて～情報管理のリスクをQMSから考える～」と題して講演した。

例年、当専門委員会ではQMSの実効性向上に効果的な事例を紹介しているが、近年発注者から業務における適切な情報管理を求められている実状を踏まえて、多くの会員企業が既に導入しているQMSを活用した情報管理の事例を紹介した。

また、会員企業へ浸透しつつあるAMSについて、近年の動向として、認証取得数の推移、会員企業の意識及び発注業務におけるインセンティブの現状を紹介した。

なお、聴講者から600件を超える意見が集まり、この分析結果から会員企業が抱えるQMS運用上の課題を抽出して、次年度以降の活動方針に繋げることとした。

(3) ISO認証に関する企業アンケートの実施

2020年12月に環境配慮専門委員会と連名で、企業代表者及び事務局を対象に、会員企業のマネジメントシステム運用状況や運用上の課題等に関するアンケート調査を実施して、157社より回答を得た。なお、アンケート回答から会員企業のQMS運用上の懸案事項を把握し、次年度マネジメントセミナーのテーマ抽出に活用した。

(4) AMSに関する情報収集

公益財団法人日本適合性認定協会（JAB）で公表される適合組織データを集約し、ISO 55001（AMS）の適合組織数の年次推移や、認証登録区分の傾向を把握するとともに、令和2年度の発

注業務に関し、AMS認証をインセンティブとする案件を独自に調査し、その結果を整理分析した。

(5) システム改善専門委員会勉強会

2021年2月22日に、一般社団法人日本アセットマネジメント協会（JAAM）より戸谷理事をお招きし、『協働の時代』のアセットマネジメント」と題しご講演頂いた。

新型コロナウイルス感染症対策のため、会場10名、Web視聴3名と寂しい参加人数であったが、講演後には講師と参加者一同で自由闊達な意見交換を行い、AMSに関し深化した情報を収集する機会が得られた、実り多い有意義な勉強会であった。

(6) JAAM研究・実践発表会への論文投稿と発表

専門委員会のAMSに関する調査研究活動で得られた知見を、「建設コンサルタントにおけるアセットマネジメントシステム活用の動向」と題した論文にとりまとめて投稿するとともに、2020年11月20日に開催された第4回JAAM研究・実践発表会にて発表した。

(7) その他

公益社団法人土木学会からの委嘱を受け、2021年3月8日開催の第56回ISO対応特別委員会へ委員を派遣した。

2. 次年度の活動について

(1) セミナー聴講者からの意見や、ISO認証に関する企業アンケートの結果から、QMS運用における「実務者の負担感軽減」を主眼に、ヒアリング等を活用した事例収集を進めて、マネジメントセミナーで発表する。

(2) QMS以外のマネジメントシステムについて、アンケート調査を通じて会員企業のニーズ等を把握した上で、有用な情報を提供する。

(3) 専門委員会の活動で得た知見を、積極的に外部に発信してゆく。

(4) 勉強会により、マネジメントシステムに関する最新の研究成果や、実践におけるより深化した情報を専門家から収集する。

(5) 関連する外部団体との交流を通じて、積極的な情報収集や情報交換を図る。

（システム改善専門委員会委員長 赤坂 保彦）